

2020 年度事業 進捗報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2022 年 11 月 24 日
- 事業名 : 中国 5 県休眠預金等活用事業 2020
- 資金分配団体 : 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

① 実績値

【資金支援】

3 段階評価 1:計画より進んでいる、2:計画通り進んでいる、3:計画より遅れている

進捗状況 3 段階評価スコア 1.0 以上～1.5 未満=1、1.5 以上～2.5 未満=2、2.5 以上～3.0 以下=3

休眠 2020 成果一覧_中国 5 県コンソ参照

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
【A-a】実行団体によってハード(施設や備品等)が整備されている。	【A-a】整備されたハード(施設や備品)の数	各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満	2023年3月(2年目が終了した時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・あかね 2:計画通り進んでいる ・ブエンカミーノ 1:計画より進んでいる ・はぐ 2:計画通り進んでいる 平均スコア 1.67	2
【A-b】実行団体がハード(施設や備品等)を活用し、直接対象グループに益をもたらす(の課題を解決する)事業が行われている。	【A-b】①実施された事業の件数	各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満	2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ 3:計画より遅れている ・つむぎ 2:計画通り進んでいる ・きずなの里 2:計画通り進んでいる ・あかね 3:計画より遅れている ・ブエンカミーノ 1:計画より進んでいる ・はぐ 3:計画より遅れている 平均スコア 1.83	2

【A-b】実行団体がハード(施設や備品等)を活用し、直接対象グループに益をもたらす(の課題を解決する)事業が行われている。	【A-b】②益を受けることができた直接対象グループの人数や団体数	各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満	2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ 3:計画より遅れている ・つむぎ 2:計画通り進んでいる ・きずなの里 2:計画通り進んでいる ・あかね 2:計画通り進んでいる ・ブエンカミーノ 1:計画より進んでいる ・はぐ 3:計画より遅れている ・学びデザイン 2:計画通り進んでいる 平均スコア 2.14	2
【A-c】実行団体によるアプローチによって、直接対象グループが実行団体の取り組みを知っている。	【A-c】直接対象グループに実行団体の取組を知ってもらうための活動内容や件数、参加者数	各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満	2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ 3:計画より遅れている ・ブエンカミーノ 2:計画通り進んでいる 平均スコア 2.50	3
【B-a】実行団体の活動が適切なツールで一般向けに発信されている。	【B-a】①新規に取り入れたまたは再整備した情報発信ツールの種類	各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満	①整備した情報発信ツール～ 2023年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブエンカミーノ 1:計画より進んでいる 平均スコア 1.00	1
【B-a】実行団体の活動が適切なツールで一般向けに発信されている。	【B-a】②情報発信した件数	各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満	②情報発信した件数～ 2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブエンカミーノ 3:計画より遅れている ・はぐ 3:計画より遅れている ・学びデザイン 3:計画より遅れている 平均スコア 3.00	3

<p>【B-b】実行団体と潜在的なファン(継続的に活動に関心を持ってくれる人たち、寄付者・会員・ボランティアなど)との間に、関係の新規開拓・維持・強化のためのコミュニケーションが取れている。</p>	<p>【B-b】潜在的なファンの新規開拓及び関係維持・強化に向けた取組件数・内容・参加者数</p>	<p>各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満</p>	<p>2024年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ 3:計画より遅れている ・つむぎ 3:計画より遅れている ・学びデザイン 3:計画より遅れている <p>平均スコア 3.00</p>	<p>3</p>
<p>【B-c】事業パートナーが参画できる機会が提供されている。</p>	<p>【B-c】事業パートナーの参画機会の新規開拓及び関係維持・強化に向けた取組件数・内容・参加者数</p>	<p>各実行団体が計画した目標値に対する進捗状況が3段階評価で1.5未満</p>	<p>2024年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ 3:計画より遅れている ・つむぎ 2:計画通り進んでいる ・ブエンカミーノ 2:計画通り進んでいる <p>平均スコア 2.33</p>	<p>2</p>

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
【A】①各実行団体の組織診断結果がレポートとしてまとめられている	①実行団体の組織診断レポートの有無	①各実行団体の組織診断が実施されレポートにまとめられている	①2021年6月	全ての実行団体の組織診断が完了している。	2
【A】②各実行団体のボトルネックを解決するための計画が策定されている	②実行団体のボトルネック解消計画の有無	②各実行団体のボトルネックを解決するための計画が策定されている	②2022年3月	組織診断や定例 MTG を通じて実行団体のボトルネックを確認している。	2
【B-a】中国地方に共通する課題や取組がレポートとしてまとめられている	中国地方に共通する課題や取組をまとめたレポートの有無	中国地方に共通する課題や取組をまとめたレポートが完成し、コンソ内で共有されている	2023年3月	実行団体の取り組みを Facebook ページにおいてシェアすることでまとめている。	2
【B-b】 ①PO等を対象とした研修が実施されている ②PO等が研修に参加している	①PO等を対象とした研修の実施された回数 ②研修に参加した人数	①本事業期間に12回(毎年度4回)実施 ②本事業PO3名に加えて、各県より希望者が参加し、のべ10名が研修に参加している	2024年3月	JANPIA主催のPO研修に加えて、コンソ共同の評価勉強会や5県研修に参加している。特に、評価勉強会は毎月1~2回のペースで実施している。また、独自に研修等に参加しているPOがいる。	1

【B-c】運営委員や PO 等による定期的な情報共有が実施されている	実施された情報共有会議等の回数	運営委員や PO 等による定期的な情報共有会議が本事業期間中に 36 回 (毎月 1 回) 実施されている	2024 年 3 月	運営委員会を 2~3 か月に 1 回程度のペースで実施し、情報共有を図っている。	2
------------------------------------	-----------------	-------------------------------------------------------	------------	------------------------------------------	---

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
資金分配団体としての会議や研修、実行団体への伴走支援等をオンライン対応できるように仕組み等を整備した。
6. 実行団体の進捗に関する報告

③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

2.広報制作物等

3.報告書等

2020 年度事業 中間評価報告書（資金分配団体）

評価実施体制

内部／ 外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
外部	全般	小林立明	多摩大学社会的投資研究所・研究員
内部	全般	毛利葉	とっとり県民活動活性化センター・理事長 (コンソ運営委員)
内部	全般	細田浩之	ふるさと島根定住財団・事務局長(コンソ運 営委員)
内部	全般	石原達也	岡山 NPO センター・代表理事(コンソ運営 委員)
内部	全般	松原裕樹	ひろしま NPO センター・事務局長(コンソ運 営委員長)
内部	全般	伊藤彰	やまぐち県民ネット 21・理事(コンソ運営委 員長兼山口県 PO)
内部	全般	小林綾子	とっとり県民活動活性化センター・事務局長
内部	全般	中山晶雄	とっとり県民活動活性化センター・事務局員 (鳥取県 PO)
内部	全般	松林安美	とっとり県民活動活性化センター・事務局員 (鳥取県 PO)
内部	全般	小笠原勝司	ふるさと島根定住財団・課長
内部	全般	佐々木太一	ふるさと島根定住財団(島根 PO)

内部	全般	森山忍	まちづくりネットワーク島根(島根 PO)
内部	全般	北内はるか	岡山 NPO センター・参画推進センター主任 アドバイザー(岡山 PO)
内部	全般	西村はるか	岡山 NPO センター・参画推進センター主任 アドバイザー(岡山 PO)
内部	全般	松村渉	ひろしま NPO センター・プロジェクトマネジャー (広島 PO)
内部	全般	山本祐二	ひろしま NPO センター・総務部長(広島 PO)

A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

① 短期アウトカムの進捗状況

【資金支援】

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
<p>【A】実行団体によって整備されたハード(施設や備品等)が活用されることによって、実行団体が定める直接対象グループに仕事や収益(活躍の場や適切な対価)が生まれる仕組みや、困難な状況を改善するための居場所が生まれている。</p>	<p>【A】仕事や収益(活躍の場や適切な対価)を得たり、困難な状況を改善することが出来た人数や団体数</p>	<p>実行団体の成果を5段階評価で測り、平均がB以上になっている。</p> <p>【5段階評価】 A:125%以上 B:100%以上 C:75%以上 D:50%以上 E:50%未満</p>	<p>2024年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ: 動画制作委員会を通して、ろう者が主体的に関わり、社会参加への意欲を見せ始めている。 ・つむぎ: 居場所が整備できたことで当事者が自ら行動しようとするきっかけになっている。 ・きずなの里: コロナ禍で利用が思うように進んでいないが、2022年4月より2名受入開始。広報を積極的に行い利用を促進する。 ・あかね: 成果を測るためのアンケートをアドバイザーと相談しながら進めている。 ・ブエンカミーノ: キャンプを再開し、利用状況がコロナ以前に戻りつつある。 ・はぐ: 検査後の状況を率直に情報開示しづらいという回答者の事情もあり把握件数が少数になった。アプローチを検討して把握に努めていく。 ・学びデザイン: フリースクール等の活動を進めている。利用者に合わせた対応も行えている。

<p>【B】実行団体による活動の発信を通じて、広く社会に様々な格差等の問題や実行団体による活動を伝えることで、実行団体への共感が広がり、ファンや事業パートナー等が生まれ(増加し)、連携と協働の取り組みが生まれている。</p>	<p>【B】①ファンや事業パートナーの人数や団体数の増加</p>	<p>実行団体の成果を5段階評価で測り、平均がB以上になっている。 【5段階評価】 A:125%以上 B:100%以上 C:75%以上 D:50%以上 E:50%未満</p>	<p>2024年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ:コンテンツ作成が遅れているためまだ成果がでていない。 ・つむぎ:行政窓口他から紹介が3件あった。 ・あかね:現在の支援実人数は60名となり、枠は満杯で現在秋待ち状態。新拠点へ移転後は目標80名達成の見込み。
<p>【B】実行団体による活動の発信を通じて、広く社会に様々な格差等の問題や実行団体による活動を伝えることで、実行団体への共感が広がり、ファンや事業パートナー等が生まれ(増加し)、連携と協働の取り組みが生まれている。</p>	<p>【B】②連携と協働の取り組みの件数</p>	<p>実行団体の成果を5段階評価で測り、平均がB以上になっている。 【5段階評価】 A:125%以上 B:100%以上 C:75%以上 D:50%以上 E:50%未満</p>	<p>2024年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つむぎ:ベーシックガバナンス取得に向けて進んでいる。 ・はぐ:スクールカウンセラー勉強会に参加し、意見・情報交換を行った。 ・学びデザイン:保護者から有益だったとの回答を得た。行政や市議との協議の場はこれから取り組む。
<p>【B】実行団体による活動の発信を通じて、広く社会に様々な格差等の問題や実行団体による活動を伝えることで、実行団体への共感が広がり、ファンや事業パートナー</p>	<p>【B】③HP アクセス数の増加、SNSフォロワー数の増加、メールマガジン購読者数の増加等</p>	<p>実行団体の成果を5段階評価で測り、平均がB以上になっている。 【5段階評価】 A:125%以上</p>	<p>2024年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部ろうあ:まだ取り組めていない。 ・つむぎ:Facebook292、instagram27、twitter6 ・はぐ:従来と異なる層からの問い合わせもあり、HPやチラシの成果を感じている。 ・学びデザインラボ:まだ成果はでていない。

等が生まれ(増加し)、連携と協働の取り組みが生まれている。		B:100%以上 C:75%以上 D:50%以上 E:50%未満		
-------------------------------	--	-------------------------------------------	--	--

【非資金的支援】

指標	目標状態	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
<p>全実行団体が規程等を整備し、ガバナンスやコンプライアンスを遵守している状態</p> <p>①規定類の整備状況</p> <p>②JCNE ベーシック評価取得(任意)状況</p>	<p>①規定類の整備～ 組織に必要な規定類が整備され、十分に浸透している状態</p> <p>②JCNE ベーシック～ 要不要を判断し、必要とした場合は取得している</p>	<p>2024 年 3 月</p>	<p>規定類の整備についてはすべての実行団体において完了した。</p> <p>JCNE ベーシック評価等の第三者評価については、実行団体の規模や現状を観察しながら、必要に応じて進めている。無理に取得させるものではないため、その判断は実行団体にゆだねている。</p> <p>毎月の定例 MTG 等を通して、徐々にガバナンス・コンプライアンスに対する意識は変わってきていると感じている。</p>
<p>全実行団体の代表(事業責任者等)に対する人材の雇用状況や育成状況のアンケート評価</p>	<p>アンケートにおいて、組織に必要な人材が雇用され、必要なノウハウを身に付けて働いている状態についての満足度が85%以上</p>	<p>2024 年 3 月</p>	<p>アンケートは 2023 年度に実施予定のため、まだ実施していない。</p>
<p>①メディア等の第三者によって発信された件数</p> <p>②全実行団体が連携・協働を行っている</p>	<p>①メディア等の第三者～ 全体で 12 件以上、メディアによってその取り組みが発信されている</p> <p>②全実行団体が連携・協働～ 全体で 4 件以上の連携・協働の取り組みが実施されている</p>	<p>2024 年 3 月</p>	<p>詳細な集計はまだ出来ていないが、多くの実行団体がメディア等によって取り上げられていることを確認している。</p> <p>連携・協働についても、規模の大小はあるが、順調に取り組んでいると判断している。</p>

当コンソHP等によって定期的に情報が発信されている状態	当コンソHP等に整理された中国地方において優先的に支援すべき分野、地域、NPO等の情報が掲載されている状態	2024年 3月	HPからFacebookに情報発信手段を切り替えた。2022年8月より試験的に運用を開始したが、シェアがうまく行かないなどシステム的な部分で本格的に発信が出来ていない。 今後、システム的な部分の改善を行い、落ち着いたタイミングでフォロワー、いいねを増やす取り組みを行う
POとして十分に活動できる人材の人数	研修や実践の経験を積んだPO11名活躍している	2024年 3月	JANPIAによるPO研修以外にも、コンソ独自に評価勉強会(毎月1~2回)、中国5県研修の開催(年2回)、その他PO独自に研修等へ参加している。 着実に中国5県のPOの質・量は高まっている。 また、構成団体を退職したベテランPOに、業務委託の形で再度関わってもらえるよう態勢を整えるなどの工夫をしている。
組織の垣根を越えた人材交流(他県への支援やインターン)が行われた件数	組織の垣根を越えた人材交流(他県への支援やインターン)が事業期間内に5件実施されている	2024年 3月	コロナ禍の為、直接の移動に制限がかかったため物理的な人材交流は取りやめとした。一方でZoomを取り入れたことで、今まで以上に頻繁にやり取りが行われるようになり、以前よりも組織の垣根を越えた人材交流は進んでいる。



② アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意)

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</p> <p>と自己評価する</p>	<p>当初計画の指標では測り切れない成果が多く出ている。そのため、短期アウトカムや指標等については見直しが必要だと考えている。</p> <p>新たな指標等については2019年度通常事業において1年以上にわたって意見交換やブラッシュアップを続けており、2022年12月には完成の見込み。その新指標に合わせて2020通常枠についても計画を変更する。</p> <p>日々の活動(伴走支援等)についてコツコツと記録を残しており、既に目標を上回る回数を実施した項目もある。(評価勉強会等)</p>

B) 事業の改善状況の評価

① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
⑤実施状況の適切性	実行団体の計画通りに事業を運営できているかどうか	一部実行団体に遅れが見える。	7 団体のうち 2 団体が短期アウトカムの目標値の達成は不透明であるとの評価となった。コロナの影響で思うように取り組みが出来ていないことが原因と考える。 中間評価のタイミングで事業の遅れなどについて把握できたため、対応を開始することが出来ている。
⑤実施状況の適切性	実行団体の計画通りにアウトカムやアウトプットが達成できているかどうか	アウトプットについては計画通りに進んでいる。	アウトカムについては達成時期が事業終了時に設定してあることが大半の為、現時点で達成は少ない。7 団体のうち 2 団体が目標の達成は不透明と評価しているが、それ以外の団体については計画通りに進んでいると評価して。 アウトプットについては大半の指標が計画通りに進んでいると評価しており、計画よりおこなわれている指標についても把握できているため、今後重点的にフォローしていくことが出来ると考えている。
⑤実施状況の適切性	非資金的支援(組織基盤強化、環境整備)を計画通りに実施できているかどうか	計画どおりに進んでいる。	組織基盤強化は、組織診断を全団体に実施し、そこで見えたボトルネックを団体と共有しながら強化に取り組んでいる。 環境整備については、評価勉強会を当初計画以上のペース(毎月 1~2 回)で実施するなど、中国地方の支援力整備は順調に進んでいると評価している。

⑤実施状況の適切性	非資金的支援(組織基盤強化、環境整備)の計画通りにアウトカムやアウトプットが達成できているかどうか	指標の修正が必要だが、アウトカム達成に向けて順調に進んでいる。	2019通常枠、2021通常枠とも連動する形で、非資金的支援のブラッシュアップを続けている。曖昧な表現、妥当性に疑問のある指標などについてを現状に照らし、評価アドバイザーの意見を受けながら精度を高めることが出来ている。
⑥知見の共有、活動の改善	実行団体の情報発信が、計画通りに実施されているかどうか。	計画どおりに進んでいる。	計画に情報発信を含む団体についてはおおよそ計画通りに進んでいると評価している。 計画に情報発信を含まない団体についても情報発信は行われているが、資金分配団体として確認が不十分なところがあるため、その点について修正を進めている。
⑥知見の共有、活動の改善	実行団体の活動が第三者メディア等によって発信されているかどうか	計画どおりに進んでいる。	テレビや新聞といったメディアに多数取り上げられる団体もあり、情報発信は順調に進んでいると評価している。
⑥知見の共有、活動の改善	社会状況や実行団体を取り巻く環境の変化等によって、当初計画からの変更が必要かどうか	指標について精度を高める必要がある。	計画に記載されているアウトカム、アウトプット指標について、曖昧な表現であったり、状況を確認することが難しい内容があるため、それらについてはブラッシュアップが必要だと考えている。
⑥知見の共有、活動の改善	実行団体や当コンソの知見や経験が集積される仕組みが出来ているかどうか	進捗状況の記録を、共通のフォームで行うように準備を進めている。	知見や経験の集積を行うためには、そのことを意識した事業計画や評価計画が必要であると改めて感じている。特にコンソ・バラエティ型である本事業については共通指標を立てることが難しく、取りまとめに苦戦していたが、評価勉強会等を通じて共通指標の精度を高めることが出来た。引き続き精度を高めるとともに、記録の方法を共通フォームに帰ることで、より一生の知見・経験の集積を目指している。

⑥知見の共有、活動の改善	実行団体や当コンソの知見や経験がステークホルダーに共有されているかどうか	おおよそ計画どおりに進んでいる。	中国 5 県で主催する支援者向けの全国研修において、休眠事業の成果や状況を取り上げるなど、知見や経験についての共有を進めている。 実行団体の知見や経験については、最終年度に報告書を作成することで対応を検討している。 日常的に当コンソ Facebook ページにて、実行団体の活動をシェアしているが、現在技術的な問題でシェアができないケースが多発しており、その対応に取り組んでいる。また、本格的な運用に向けてフォロワー数拡大についても準備を進めている。
⑥知見の共有、活動の改善	社会状況や実行団体、資金分配団体を取り巻く環境の変化等によって、当初計画からの変更が必要かどうか	計画どおりに進んでいる。	現状で変更の必要は感じていない。 現在、寄付に関する法整備が検討されており、場合によっては日本の寄付文化の在り方から変わる可能性があり、そのことについては注視している。
⑦組織基盤の強化	実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制が整っているかどうか	計画どおりに進んでいる。	規定類の整備は完了している。実行団体によっては第三者評価の獲得や認定 NPO を目指すなど積極的なガバナンス・コンプライアンス整備に取り組む団体もいる。 団体の実情に合わせて整備を進めることを方針としているが、常日頃からガバナンス・コンプライアンスの重要性については伝えるようにしている。
⑦組織基盤の強化	実行団体の役職員(事業の担い手)が雇用され、育成されているかどうか	計画どおりに進んでいる。	雇用については該当する計画がない。育成については計画通りに進んでいると評価している。

⑦組織基盤の強化	実行団体がファンや事業パートナーと連携、協働で活動に取り組んでいるかどうか	計画どおりに進んでいる。	協働が実施できているというケースはまだ把握できていない。連携については順調に進んでいると評価している。
----------	---------------------------------------	--------------	-----------------------------------------------------

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

2019 通常枠や 2021 通常枠といった、他事業との相乗効果もあり、PO をはじめとする人材が休眠預金事業や社会的インパクト評価に慣れてきたことが短期アウトカムの状態の変化・改善に最も貢献していると考えている。

当事業はコンソーシアム・バラエティ型であり、資金分配団体としてどのように評価を進めるか非常に難しい状態だった。それは今も変わりはないが、向き合う時間、係る時間がそのまま事業の成熟に寄与していると考える。

③ 事前評価時には想定していなかった成果

評価アドバイザーを当初は想定していなかったが、2021 年秋からコンソ全体をサポートいただけることとなった。アドバイスをいただいたことにより、今まで見えていなかった成果や、見せ方のわからなかった成果が少しずつ見える化されている。結果として、想定していなかった成果につながっている。



④ 事業計画（資金分配団体）の改善の必要性の確認

⑤

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために、</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある <input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っていると自己評価する 	<p>現在の事業計画に示されている短期アウトカムについては、おおよその方向性については適切であると判断している。</p> <p>一方で指標や目標などについては、曖昧な表現が多く実態に合わせて測ることが困難であるなど、見直しが必要と判断している。</p> <p>2019 通常枠の事業が先行しているので、その経過も踏まえながら改善していきたい。</p>

⑥ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

事業計画のブラッシュアップ。

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）